

生涯学習

No.565

かおり高い
文化のまち

発行 下諏訪町
教育委員会
編集 生涯学習
編集委員会

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎ 0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
✉ syougai@town.
shimosuwa.nagano.lg.jp

ガーデニングで心豊かに



町屋敷

川村

幸一

みちよ

デニング生活は続き、気づくと7年が経ち、バラは80本になってしまいました。庭造りとバラにはまり、暗中模索の中、インターネッ

7年前、更地を眺めながら主人が「庭でも造ろうか、ゆっくり楽しみながら」と言い出し、花好きの私もすかさず「いいね」と簡単に決めた庭造り。130坪の敷地に駐車場を決め、残りは庭としてまず遊歩道を確保し、そこに平石を敷き、あちこちに低木を入れました。寒冷地なので寒さに強い「毎年咲く花を」と思い、宿根草のバラを植えました。早朝から夕方まで、花を探し求めながら植え続け、12月の雪の積もるまで、二人のガー



植物の種類に適した土づくりは重要です



植物の種類や名前などを書いた手作りの木札を立てました

トで調べたり友だちに聞いたりの繰り返しでした。

6月の半ば過ぎ、真っ先に咲く一番手は「スパニッシュ・ビューティー」、続いて「ゴールド・バーニー」、「アイスバーグ」、「アブラハム・ダービー」と次から次へとつるを張り巡らせ、そこから赤や黄色、ピンクや白のバラが一斉に咲き始め、庭全体が美しさと華やかさに満ち溢れます。大きく



れいに咲いた!」と喜んでみると、病気で変色して、全部枯れることもあり、本当に難しいと思います。ことも数多くあります。私たちが住むこの地区は、山を

膨らんだバラのつぼみは徐々に開花し、芳香を放ちながら、太陽の光に照らされて一層鮮やかに咲き誇ります。そんな美しいバラですが、皆に「バラは虫が集まるから大変だよ。難しい」と言われました。本当に油断すると害虫に集られ、花も葉も食べ尽くされます。若木は柔らかく香りも素晴らしいから、虫も寄ってくるのでしょうか。「きれいに咲いた!」と喜んでみると、病気で変色して、全部枯れることもあり、本当に難しいと思います。ことも数多くあります。私たちが住むこの地区は、山を



手作りの巣箱にはシジユウカラが出入りしています

背にし、タヌキやキツネ、アナグマ、シカ、ニホンカモシカも来ます。また、野鳥も多種多様に。夏は赤トンボ、アゲハチョウもバラや他の花々の香りに誘われて、仲間を引き連れて、花から花へと舞い、遊び、なかなか帰りません。野鳥のシジユウカラは、主人の作った巣箱が気に入り、早速子作りをし、ひなを育てて巣立っていきました。

また、見た目が好きになれないカマキリは、実は益虫だと知り、クマバチを捕獲した時はびっくりしましたが、庭の他の害虫も捕っ



鉢植えのインパチェンスはピンクの花を咲かせています

てくれるのはありがたいこと。「うちの庭の大事な助っ人だ」とつぶやいてしまいました。それから「大事な我が家の助っ人」は、しっかりと保護することになりました。

この豊かな自然の中で生命をしっかりと繋ぎ、精一杯生きている生き物は、実は私達人間と共存し合って生きていることを改めて教えられる思いでした。

消毒も必要最低限に控え、害虫を目にした時は、手で駆除することも日課となりました。

最近テレビや口コミで庭を観に来られる方が増え「バラ好き」



花を見ながら談笑できるようにテーブルも置きました

が集まり「バラ友」になり、庭でバラ談議が始まります。自己流でまだまだ未熟な私達にとつて、またとない機会。教えてもらうことばかりです。大事な意見交換の場となりました。

また、ある時は、10人くらいの高齢の女性陣がお弁当持参でゆっくり散策され、バラを眺めたりお茶会を楽しんだりして帰られました。

最近、男性の方の一人での見学者も多く、積極的に話し込み、バラに対する知識の深さと経験、情熱が伺われ、時代が変わったとい



つるバラには、アーチ型の支柱を立てました

う気にさせられました。バラを通じて知り得た貴重なひとときをこれからも広げていかれるばと思うところでした。

昨年から世界中がコロナ禍の中、終息の兆しが見えませんが。コロナの脅威に怯えながらの生活を余儀なくされていますが、そんな中でも昨年からガーデニングを楽しむ方が多くなったとか。高齢の私達も花を育てゆつたりと暮らす老後の姿勢を今、探し出したのかもしれない。

これからも花を通じて自然と寄り添いながら、無理せずシンプルに、でも心豊かに穏やかに過ごすことができたと思う今日この頃です。

下諏訪南小学校

創立50周年に思いを寄せて

下諏訪南小学校 創立50周年記念事業実行委員会

実行委員長

武井 たけい

英昭 ひであき



昭和ベビーブームの子ども増加に合わせ昭和45年に学校改革として、下諏訪小学校が解散、翌昭和46年に下諏訪町の学区が北と南に分かれて、下諏訪町立下諏訪南小学校が開校されました。それから長い年月を経て、今年創立50周年を迎えることとなりました。この大きな節目を迎えるにあたり、平成31年に同校創立50周年記念事業実行委員会を設立し、記念式典、おんばしら、南っ子バザール祭り、記念誌等様々なイベントを計画し

てきました。

同年に、第一弾として「南っ子バザール祭り」を開催しました。フリーマーケットの出店、各種団体様の発表、保護者及び地域の方からご提供いただきました未使用や不要となった品々を出品したバザールなどをご用意しました。参加者も、在学中の児童を始め、保護者、地域の皆様など多くの方々にご来場いただき大盛況に終わりましたことに深く感謝申し上げます。

令和2年に入ると、世界に拡大した新型コロナウイルス感染症に伴い、全国一斉に学校が休校になるとともに外出の自粛、ソーシャルディスタンスやマスクの着用等我々の日常生活を制限することを余儀なくされました。これにより、



当初計画していましたが50周年記念事業の各種イベントの開催が困難となり、皆さんと一緒に下諏訪南小学校の50回目の誕生をお祝いすることを断念いたしました。今でも、本当に残念な思いであります。

ただ、この状況下でも下諏訪南小学校の50回目の誕生をお祝いするため、コロナ禍でも実施可能な事業への方向転換を図り、児童のみを対象とした記念式典、記念誌、北小との合同パンフレット制作、記念DVD制作、校舎を飾るイルミネーション、缶バッジの制作などでお祝いすることとさせていただきます。これらの事業は、下諏訪町を始め、教職員、保護者、地域の皆様のご協力と地元企業及び個人

の皆様からの多大なる寄付により、実施することができました。深く感謝を申し上げます。
この新型コロナウイルス感染症に私も苦慮しているところですが、毎日元気に学校生活を送る子どもの姿に、心が救われています。この子どもたちの未来が新しい時代を築くことに想いを馳せ、子どもたちが元気に生きていける社会となることを一人の大人として願うばかりであります。



記念誌・DVDの配布準備作業



下諏訪南小学校創立50周年記念事業



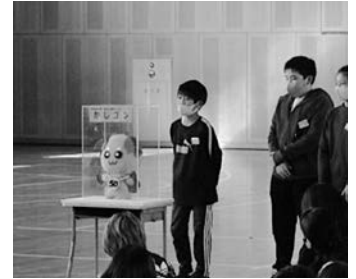
南小ふれあいバザール
(令和元年9月21日)



キャラクター「かじゴン」 除幕式
(令和2年10月20日)



応募総数286点
の中から選ばれた
創立50周年記念
キャラクター
「かじゴン」。



音楽参観の日に6年生の前で披露されました

記念DVDの撮影風景



航空写真撮影(令和2年7月20日)

記念缶バッチの作成



なぎがまCSから贈られた缶バッチを製作する機械で約900個作成し、南小の児童と下中の生徒に配布しました。

校舎に飾られた50周年をお祝いするイルミネーション
(令和2年11月)

PTAふれあい委員会と50周年実行委員会記念事業部でイルミネーションの飾りつけを行いました。



50周年記念式典(令和3年1月22日)

新型コロナウイルスの感染防止の為、50周年記念式典はテレビ放送で行われました。



完成した創立50周年
記念誌とDVD



◎下諏訪図書館6月の休館日は、4・7・14・21・28日です。

50周年を迎えて

実行委員会設立と北小学校

下諏訪北小学校 創立50周年記念事業実行委員会

実行委員長

瀬切 陽一



私が3年前のPTA会長の際に、3年後に北小が50周年を迎えるとお聞きし、当時の三役の皆様にお願ひし、50周年準備委員会を立ち上げ、バザーの企画・実施・周知活動を主に活動しました。当時の役員が不安の中、活動したことを覚えていきます。

下諏訪北小学校開校50周年おめでとうございます。

50周年を迎え「北小学校は、教育を重んじる地域の強い要望を受け開かれた学校を目指し誕生した」と、地域の皆様からお聞きしておりました。北小学校が50周年を迎えるにあたり、これまでご指導いただきました下諏訪町・学校長・諸先生方・地域の方々・学校関係者・保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

その活動を通して感じたことは、地域の皆様が北小を思う強い気持ちに、当時の役員が感激したこと、が今でも忘れません。

その後、バザーは翌年も実施し50周年に向け準備を整えました。



令和2年11月21日に掘り出された25年前のタイムカプセル

の2年間は、地域の皆様と一緒に貴重な体験をして心に強く残る活動期間でした。皆様に助けられ支えられたからこそ成し得た活動だと思えます。



10年後に開封するタイムカプセル

実行委員会の立ち上げにあたり、10年前の北小歴代PTA会長を中心に、当時の三役の皆様にも声をかけて会議に集まっていただけか不安でしたが、全員出席していただいたことが嬉しかったです。私が実行委員長に選ばれるとは思いませんでしたが、北小学校のために引き受けることを決意しました。

「子どもたちが主役の50周年」と決めて発足したものの、同時に「新型コロナウイルス感染症」が日本全土に広がり会議も中止・延期になり、大変な状況の中でのスタートになりました！

「子どもたちもコロナ禍で頑張っている」「大人もコロナに負けない」そんな気持ちで、皆で模索をしながら、何度も何度も協議を重ねました。厳しい状況でしたが、50周年記念事業は北小ならではのチームワークで実現・実施することができました。

子どもたちが、安心・安全・楽しく通える学校にと50年間皆様のご尽力をいただいた様に、実行委員会も先輩方と考え実行する姿がこの地域の伝統と感じました。

「さあ、やろう」という50年間北小が大切にしてきた言葉の意味を感じて、60周年も目指し、この地の伝統を守り、地域一体で取り組む姿勢を次の世代にもつなげてほしいと感じます。

北小学校は、笑顔で育ちゆく場です。自然豊かなこの学校でいろいろな事を体験し、生まれ育ったことに誇りが持てる北小学校であり続けてほしいです。

50周年活動を通して、沢山の皆様にご尽力・ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



下諏訪北小学校創立50周年記念事業



第1回 バザー&フリーマーケット (平成30年10月)



第2回 バザー&フリーマーケット (令和元年10月)

航空写真撮影(令和2年7月20日)



校庭に描いた大きな梶の葉の白線に合わせて、全校の児童が並び、飛行機から撮影。



50周年記念運動会(令和2年9月19日)



旗を持って表現する5・6年生

コロナ禍で密にならないように種目を限定し、各学年工夫して取り組みました。



記念のくす玉割り

50周年記念音楽会(令和2年10月30日)



4年生のオープニング

限られた練習時間を有効に生かして歌声、演奏を届けました。保護者の入場制限やステージ毎の消毒など感染対策を施しました。



50周年記念のステージバック

50周年記念式典(令和3年3月12日)

2度の延期を経て3月12日に44名のご来賓に参列いただき、行われました。



本校卒業生LCV山本アウンサーによる進行



全員で「ふるさと」を合唱



夢を載せて、風船飛ばし

はじめまして、どうぞよろしく！

Café Pucca (東赤砂)

赤司 慶子



族(97歳になる母、陶芸家の妹、保育士の次男)を引き連れて移住し、自宅とカフェと妹のアトリエを作った場所はまさにまさに艇庫のお向かい諏訪湖端で、毎朝2階の窓から見える湖と山々を幸せな気持ちで眺めています。

はじめまして！と言うのも変でしょうか、昨年6月21日にカフェと妹の陶芸工房を開いて、もうすぐ1年がやってきました。30年住んだ東京、転勤族の家に育って結婚後もやっぱり転勤族だった我が家、暮らしの場所を変えるのは「一大決心」というほどのことはない：と思っていたのですが、それでも結構大変な事業になりました。広い空と諏訪湖に惹かれて家

早く地域の一部になりたいと開いたカフェと陶芸工房は小さなスペースですが、コロナ禍の最中にもかかわらず皆さんに広く利用していただいで、本当に嬉しいのです。朝7時からオープンしてモーニングタイム



朝7時からオープンしています

があり、ランチは午後1時半まで、小休憩のあと夕方5時半から夜9時までがお店の1日です。青春時代に覚えたロシア料理(ボルシチやペリメニなど)と自家製の焼きたてパン、お客様の好みに合わせて一杯一杯丁寧に淹れるコーヒーがうちの店のおもてなし。「おいしかったよ！」と言っているだけで何が嬉しなことなのです。陶芸家の妹もここでたくさんの方々に受け入れていたでいて、小さな陶芸教室には1年経った今でも新しい生徒さんが加わって賑やかです。



陶芸の作品もご覧ください

下諏訪町は小さな町で、若い方々からは何にもない所だよ、という声も聞かれますが、私たちがとってはこんなに豊かでのびのびと暮らせる場所はないかなあと…。お水もおいしい、



艇庫「AQUA未来」の向かいです

野菜もみずみずしくて、人も動物も植物もみんな生き生きとしています。太陽も月も星も本来の輝きに満ちているように感じられます。最近、南小学校4年生の子どもたちから店内に貼ってくださいと一枚のポスターを手渡されました。「未来へつなごうきれいな下諏訪！」と書いてあって、子どもたちの笑顔が並んでいます。私たちもそのお手伝いのできたらいいなと心から思いました。歩き始めた信州人のひよっこをどうぞよろしく！

しもすわ人形劇まつり 2021

日時：7月3日（土） 13：00～17：00
7月4日（日） 10：00～13：00

会場：下諏訪総合文化センター 大・小ホール



入場料： 高校生以上 500円
中学生以下 無料

チケットは、6月上旬から下諏訪総合文化センター1階事務室でお求めいただけます。
(定員150人)

※新型コロナウイルスの感染状況によりイベントの内容は変更・中止になる場合があります。

■ 問い合わせ 下諏訪総合文化センター ☎28-0018

六月のふえ

〇〇記念日として制定されているものの多くは、語呂合わせからきているものが多い。6月もほぼ毎日のように〇〇記念日が制定されている。しかし、6月は「気象の日」（1日）、「環境の日」（5日）、「時の記念日」（10日）のように、その由来から制定されている記念日もいくつかある。

「時の記念日」の由来を調べてみると、671年、天智天皇の時代に日本で初めて漏刻ろうこくという水時計で時を刻んだことに由来するらしい。

水時計といえば、平成9年にオープンした「時の科学館儀象堂（現しもすわ今昔館おいでや）」に世界で初めて復元された水運儀象台も水時計の一つで、今から90年以上も前に中国で造られ、正確な時を刻んでいたとのことである。

昭和34年にクォーツ時計の小型化を目指して発足したプロジェクトチームが10年かけてクォーツ式の腕時計の開発に成功し、いち早く売り出したのは諏訪の企業である。

昨年は、コロナ禍において県内の小中学校が修学旅行の目的地の一つとして下諏訪町を訪れ、「おいでや」の時計工房で時計の組み立て体験をした学校もあったようだ。自分が組み立てた腕時計を腕にはめ、楽しそうに町を歩く小中学生の姿を想像すると嬉しく思う。他にも、諏訪大社、オルゴールの組み立て体験、諏訪湖でのボート体験、花火鑑賞等諏訪の歴史や文化に触れる体験をした学校が何校もあったようだ。

あらためて地元の歴史や文化、諏訪のモノづくりの精神に触れてみてはいかがでしょうか。

（曾根原義治）